|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設長 | サビ管 | 世話人 | 世話人 |
| 　　 |  |  |  |

議事録（スタッフ会議）・第四回

2020年10月27日（火）

15：00～16：20

参加者：田中施設長、芳賀サビ管、江畑、丸山

1. 儀間さんモニタリングについて（添付書類・・・・・・・・・・・・3枚）

本人の目標は、入居当初と変わってない。

* 1. コンビニ（セブンイレブン）まで歩けるようになる。
	2. 娘さんと一緒に暮らすこと。

・本人の気持ちにやる気はあるが、行動が伴っているようには見えない。

　職員の言った事に対し、自分の価値観で判断（職員の思いとの間に違いがある）しているようだ。

　・本人は、足が痛むからやらない、やらなくて良いとの思いがある。

　　その事で歩行ができなくなるリスクが高いことに気づかない（認められない）。

 　そのため、「負のスパイラル」が起こっている。

　　・以前より歩けなくなったことは、「後悔」をしている。

　　・本人は「マッサージをすれば良くなる」と捉えていて、マッサージが出来ない事に不満がある。

　　・娘さんと面会した際に、いざ動きたい時に動けなかったことで、悔しかったのか「リハビリ」に行きたい気持ちが出てきた。

今後の支援について

　入浴時、様子を見る。　→　風呂場の出入り、転倒しないかなどの見守り。

　患側筋力保持 　　　　 →　声掛け・介護サービスの利用の検討(デイケア参加など)。

　日中活動 →　生活サポート・Ｂ型（オードリー）の回数を増やす。（2日/ｗ　→　3日/ｗ）

1. 高橋さんの現況報告

・田中施設長が病院を訪問。当初は「会いたくない」との事でしたが、当日、10分程の面会が

できた。

その際に、手紙を渡したが「内容は生活保護変更通知」だった。

　　　・病院のＰＳＷによると、本人は「食事をして、寝る事を繰り返している。

　　　　しかし、今日の面談の契機に「本人の前向きな姿勢がみられた」と話している。

　　　・退院時が契約期間内の場合、戻ってくる可能性が高い。

　　　　　・本人は、入院を継続したいと考えている。（しかし、現実には一定期間後の退院は必須）

　　　　　・社会に出ることは、本人にとって苦痛であるように見える。

　　　　　・精神年齢と実年齢とのギャップがかなりありそう。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　裏へ

1. 桶田さんについて

・桶田さんは、エミーツが法人後見をしている被保佐人。

・クリードに在籍中。本人はクリードを退去し、しんごうへの入居を希望している。

　　　・11月11日（火）のカンファレンスでしんごうの利用を検討する。

　　　・本人から連絡があった場合は、本人から伝言をメモして芳賀さんに伝える。

　以上